

才人たちに推される作曲家

フランツ・
シューベルト

Franz Schubert (1797-1828)

いまの人気ぶりからは思いもよらないが、シューベルトの交響曲はいずれも生前に公開演奏されることがなかった。《ザ・グレート》も作曲者の死後に評価され演奏された作品だ。埋もれていた作品を見出したのは、当時第一線の作曲家であり音楽評論活動もしていたシューマン。そして初演の指揮をしたのは、ライブツィヒでゲヴァントハウス管弦楽団を率いていた才人メンデルスゾーンだ。2人とも、シューベルトを推してくれてありがとう！



メンデルスゾーンの演奏を
シューマン(右)とともに草葉の陰から
見守るシューベルト(左)
イラストレーション: ©IKE

《ザ・グレート》

シューベルトの音楽は、音や音型のくり返しが多い。そしてこの反復がえも言われぬ時間体験を生む。ベートーヴェンとはまた違い、手をかえ品をかえ旋律の色合いを変化させながら楽園的な愉悅をもたらす音楽。《グレート》を見出したシューマンも「天国的に長い」と作品を絶賛した。この作品ならではの時間を、ゆっくり噛みしめながら楽しみたい。